

健やかな成長を願って

秋晴れの空を見上げながら石段を上ると、千歳飴を手にして華やかな衣装に身を包んだ子どもたちの輝いた笑顔が見えてきました。11月12日、大宮大神で子どもの成長を祝う行事の七五三祈願祭が行われ、13名が七五三を迎えました。ご祈願が始まるとちょっと緊張した面持ちでしたが、神主から祝詞、お祓いを受け、神主ら大人たちを真似て、上手に玉串奉奠をすることができました。それを見守るご家族のほほましい表情も見え、温かい気持ちになりました。



たまぐしほつてん



伝統神事「牛尾の蛇祭り」

“オレは白幡大明神、悪魔をはるおてヨーイヤサー”、11月12日に牛尾地区の当番家から勢いよく飛び出してきたのは、稲わらで作られた大蛇を担いだ男性たち。特徴的な化粧をした彼らは蛇行しながら白幡神社へと練り歩き、その後ろには童子とお囃子が続きます。童子とは墨が付いた大根を持った子どものことを言い、墨をつけられた者は1年間健康に過ごせるといわれています。祭りの最後に蛇は鳥居に巻き付けられ、しめ縄の代わりとして地域の皆さんを見守ってくれることなのでしょう。

まごころ込めた逸品

11月15日、県の魅力を紹介するフジテレビ「千葉の贈り物」の番組収録で、大橋誠さん、怜子さん夫妻(西古内)が開発したイワシのなれずしが撮影されました。イワシのなれずしは、町の特産品開発事業に選ばれたもので「無農薬にこだわって育てるお米を生かしたい」「北海道出身でなれずしに親しみがあった」などの想いが形になったそうです。12月10日には、イワシのなれずしの特徴やできるまでの苦勞、製造の様子が放送されました。



消防士さんって、カッコいい

11月17日、晴天に恵まれたこども園で避難訓練が行われました。子どもたちは先生の誘導で園庭に無事に避難することができ、その後は、消防多古分署の消防士さんたちの放水訓練が行われ、園庭はそれを見た子どもたちの大きな歓声に包まれました。放水訓練のあと、4、5歳の園児たちは消防士さんから消防車の仕組みについて説明を受け、目をキラキラ輝かせながら聞いていました。また、本物の消防服を実際に試着するなど貴重な体験となりました。



楽しいひととき～生涯学習文化講演会～

11月19日、コミュニティプラザで、多古町生涯学習文化講演会が開催され約70名の参加がありました。第1部では「若者男女！コグニサイズで楽しく健康づくり」と題して、講師の竹内さんから認知症予防に効果がある脳と体の両方を使いながら運動するコグニサイズを実践し楽しく学びました。第2部は、多古町出身で落語家の吉原さんから「笑う人 この世の中を 長く生き」と題し、自身の幼少期の経験を踏まえた講演と落語で参加者は笑顔にあふれていました。



たけうち やのこ
竹内弥彦氏



よしわら ちやうぼ
吉原朝馬氏

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画空港政策課広報係
☎76-5409



大根の収穫と生徒たちの成長

11月15日、多古高生産流通科の1年生34名が校内の畑で大根「冬自慢」を収穫しました。9月の中旬に種をまき、それから毎週水曜日の実習の時間を利用し、草取りやうね立ての作業を行い収穫の日を迎えました。越川和垂さんと原田祐音さんは「台風被害もあり大変なときもありました。収穫した大根は家に持ち帰って家族と一緒に食べたいです」と話していました。生徒たちに農業を通して生命の大切さや、自ら気づき、考え、行動することを学んで欲しいと話す中川先生。将来、農業に関わりたいという生徒が増えていくことを願っています。



目指せ!町の観光親善大使



11月30日、町主催による観光ボランティアガイド養成講座が開かれ、約20名が参加しました。9月から始まった講座も3回目となり最終回を迎えました。講師は長年にわたり横浜市で観光ボランティアガイドを務めている、嶋田昌子さん(写真右)。さまざまな講話のなかから、「ふるさとを愛する気持ちが大切」「実際に歩いてみると新しい発見がある」などと、普段からガイドを務めている体験から知識や心構えなど貴重なお話がありました。参加者は、観光スポットの勉強を行い、実際にガイド役も体験するなど有意義な講座となりました。参加者からは、「町を盛り上げていきたい」「今まで知らなかったことも知ることができた」「このような講座を継続して行ってほしい」などの声が上がりました。



この養成講座は第2弾も計画されておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。